



大切なあの方に、花を贈ってみませんか！

春ははじまりの季節。春のお祝いごとにフラワーギフトを贈りませんか！
 チューリップやスイートピーなど心を軽やかにしてくれる、かわいらしいお花がいっぱいです。
 素敵にラッピングしたフラワーギフトを贈れば相手も嬉しいはずです。
 また、プリザーブドフラワーのフラワーギフトも、長く楽しむことができ、定番になりつつあります。
 この機会に、是非大切な方にプレゼントしてみてはいかがでしょうか・・・。



ヴァレンタインに・・・



チョコレートボックス

2/1(火)~2/7(月)

D

卒業・入学のお祝いに・・・



ナチュラルステムブーケ

3/8(火)~3/14(月)

B C D

【花贈りの主な行事】

卒業・入学・就職・結婚記念日・歓迎会・送別会・お見舞い・快気祝い・開店・開業・長寿祝いなど

【贈り物をするタイミング】

花を贈るタイミングで、相手が受ける印象は大きく違ってきます。贈る側の気持ちが、受け取る側の方にきちんと届くようにしましょう。

- 結婚祝いなら一兩日前までに贈り、結婚式後にならないようにする。
- 誕生日、記念日などには、当日に届くようにする。
- 開店・開業などには、前日もしくは当日の午前中など、相手のスケジュールに合わせた時間帯を選んで贈る。

【相手の好み】

贈って喜んでもらえる花は、なんといつても相手の一番好きな花です。日頃のお付き合いの中で、それとなく好きな花を聞いておくと、いざ花を贈るときに役に立ちます。贈る相手の好きな花が分からない場合は、相手のイメージに合わせたり、普段着用している服装のセンスなどから、何色が好きか、おおよその見当を付けて選びましょう。

【お見舞いの花】

お見舞いなどで花を贈る場合、様々な気遣いが必要となります。花の本数(数)や、アレンジメントのデザインによって、あまり良くない意味を持つものがあります。「早く、良くなって下さい。」の気持ちを込めて贈る花なので、一般的にタブーとされていること、花を選ぶ際の注意事項に気をつけて花贈りをしましょう。

- 花の本数(数)に気をつけましょう。
 4(死)、8(ハ=末広がりは病気が広がる、悪くなる)、9(苦しむ)、13、これらの数は不吉な数字とされているので禁物です。
 (お祝い事には、8(末広がりは)は良いとされています)
- 鉢植え、鉢植えなどを使ったアレンジメント(根付く=覆付くと昔からいわれています)
- 香りの強い花、花粉の多い花、散りやすい花、水が下がりやすい花は避けたほうが良いでしょう。

就職のお祝いに・・・



ギフトバック

3/15(火)~3/21(月)

C D

上品な輝きのプリザーブドフラワー



シャイニングローズ

3/22(火)~3/28(月)

B C D